

県内の感染状況

令和3年4月18日時点

1. 感染状況概要
2. 指標の状況
3. 市町別の状況
4. 直近の感染状況分析

1. 感染状況概要

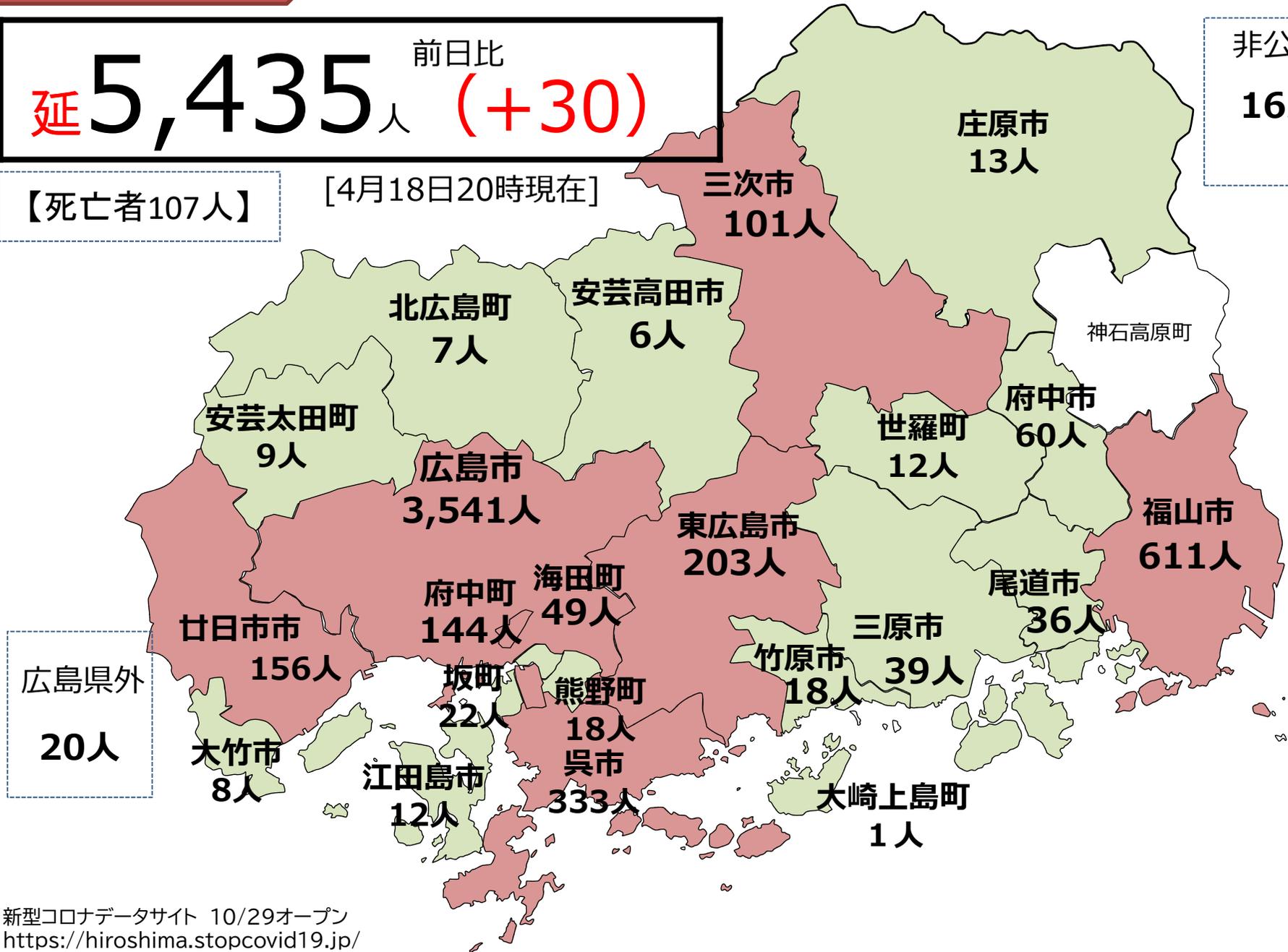
感染者発生状況（市町別）

延 **5,435** 人 前日比 (+30)

【死亡者107人】

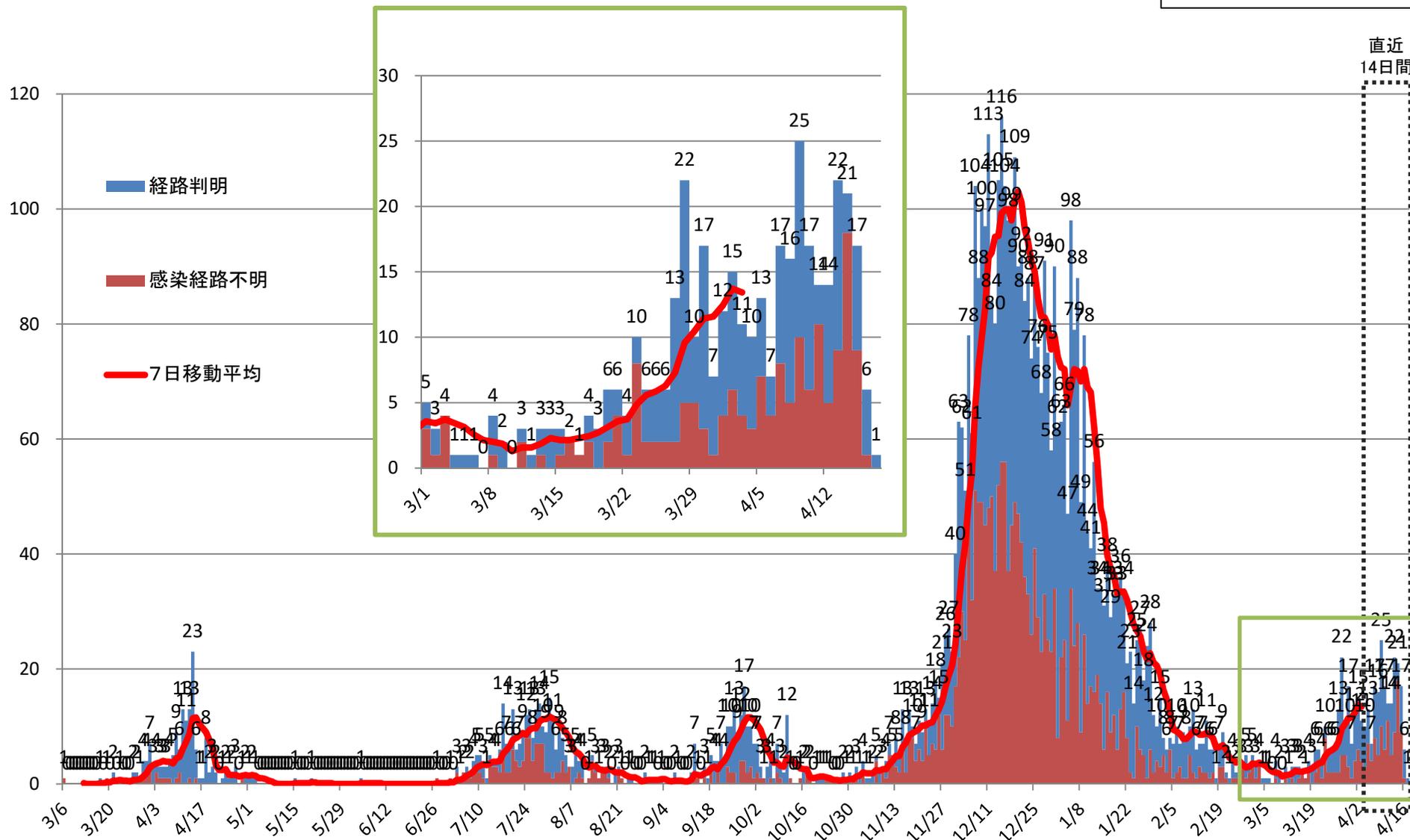
[4月18日20時現在]

非公表
16人



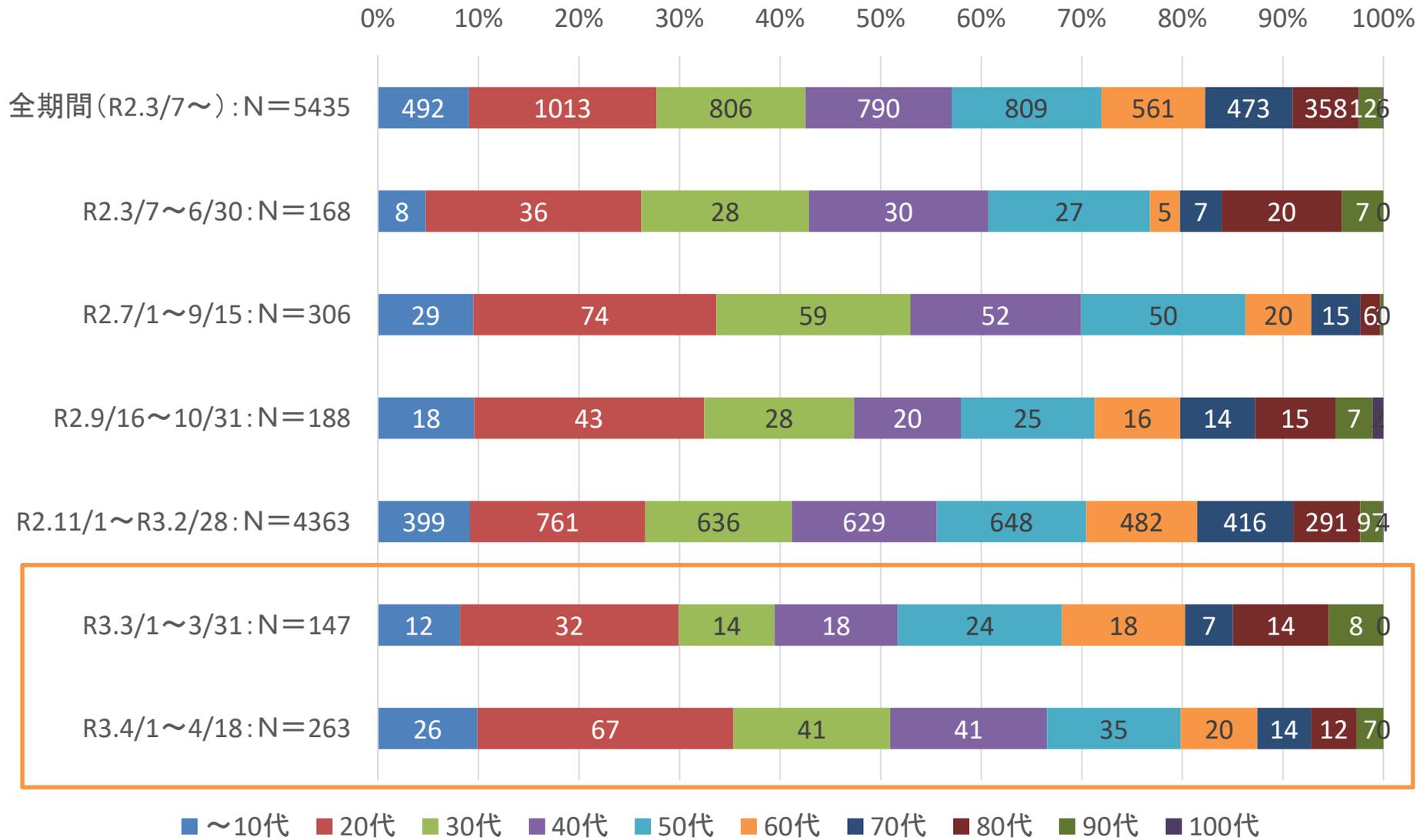
発症日別（無症状の場合は判明日）流行曲線

4月18日20時整理



年代構成

4月18日20時整理



2. 指標の状況

分科会参考指標

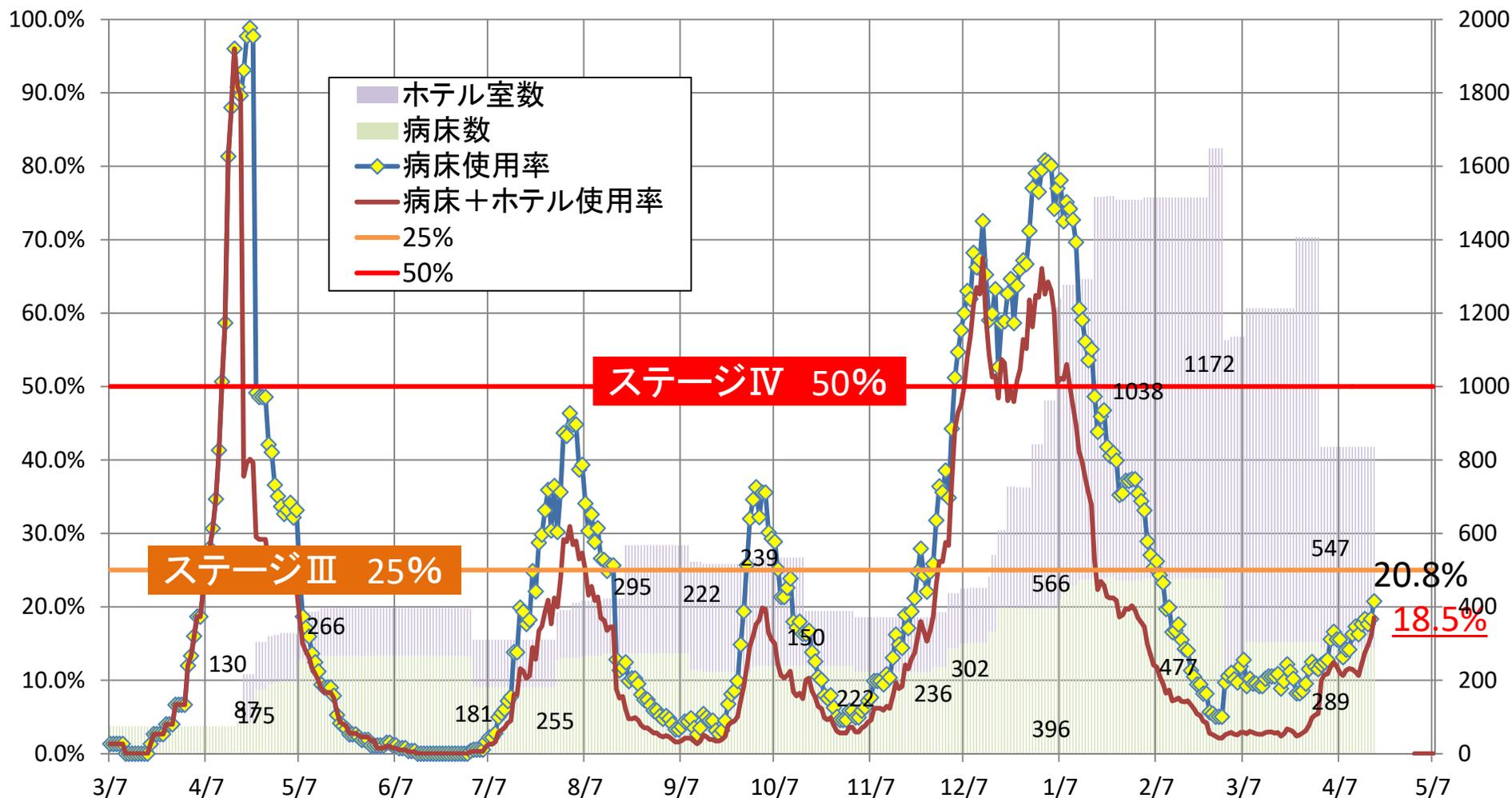
4月18日20時整理

指標	現状	前日比	評価
①病床ひっ迫具合	使用率 18.5% (155 / 病床 289 +ホテル 547) 〔入院病床の使用率 20.8% (60 / 289)〕	 (+2.6%)	現時点の確保の1/2を下回る (ホテル空室率は 82.6%)
②療養者数 (人口10万人当たり)	6.23 人 (4/18 時点) (175 / 28.11)	 (+0.89人)	警戒基準値6人を上回る 15人を下回る
③PCR陽性率	0.9% (直近7日移動平均) (4/15 時点)	 (+0.01%)	10%を下回る
④新規報告数 (直近1週間の人口10万人当たり)	5.30 人 (4/12 ~ 4/18) (149 / 28.11)	 (+0.68人)	警戒基準値4人を上回る 15人を下回る
⑤直近1週間の 先週比較	今週 149 人 (4/12 ~ 4/18) 先週 76 人 (4/5 ~ 4/11)	 (+19人)	先週と比較して増加
⑥感染経路不明割合	53.7% (直近7日移動平均) 39.7% (これまでの累積)	 (+1.4%)	50%を上回る

分科会参考指標① 病床ひっ迫具合

各時点での稼働病床で算出。
現時点で、ホテル(547室)も含めると、
使用率は**18.5%**で25%を下回る。

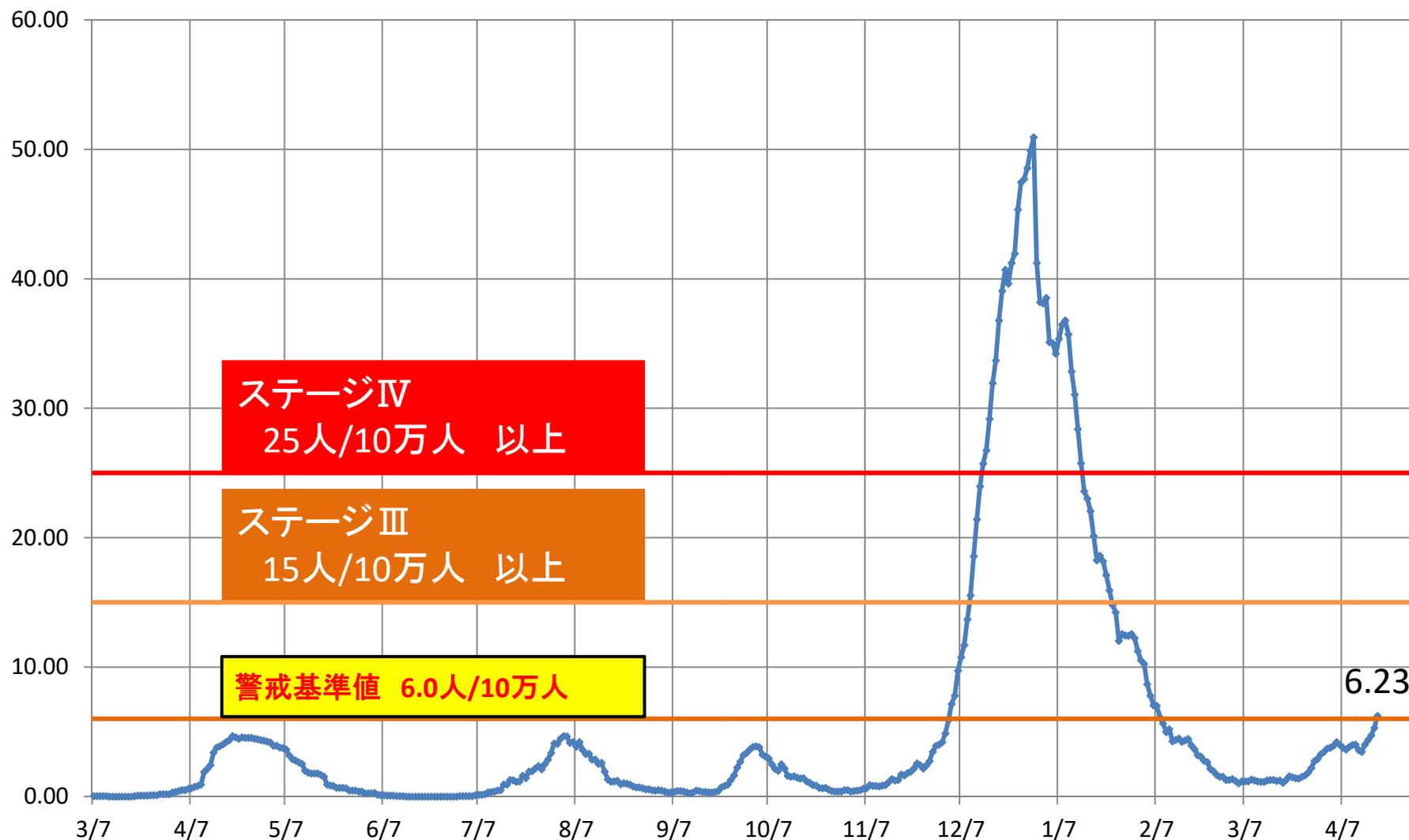
評価
➤ 現時点の確保の1/2を下回る
(ホテル空床率は**82.6%**)



分科会参考指標② 全療養者数（人口10万人あたり）

評価

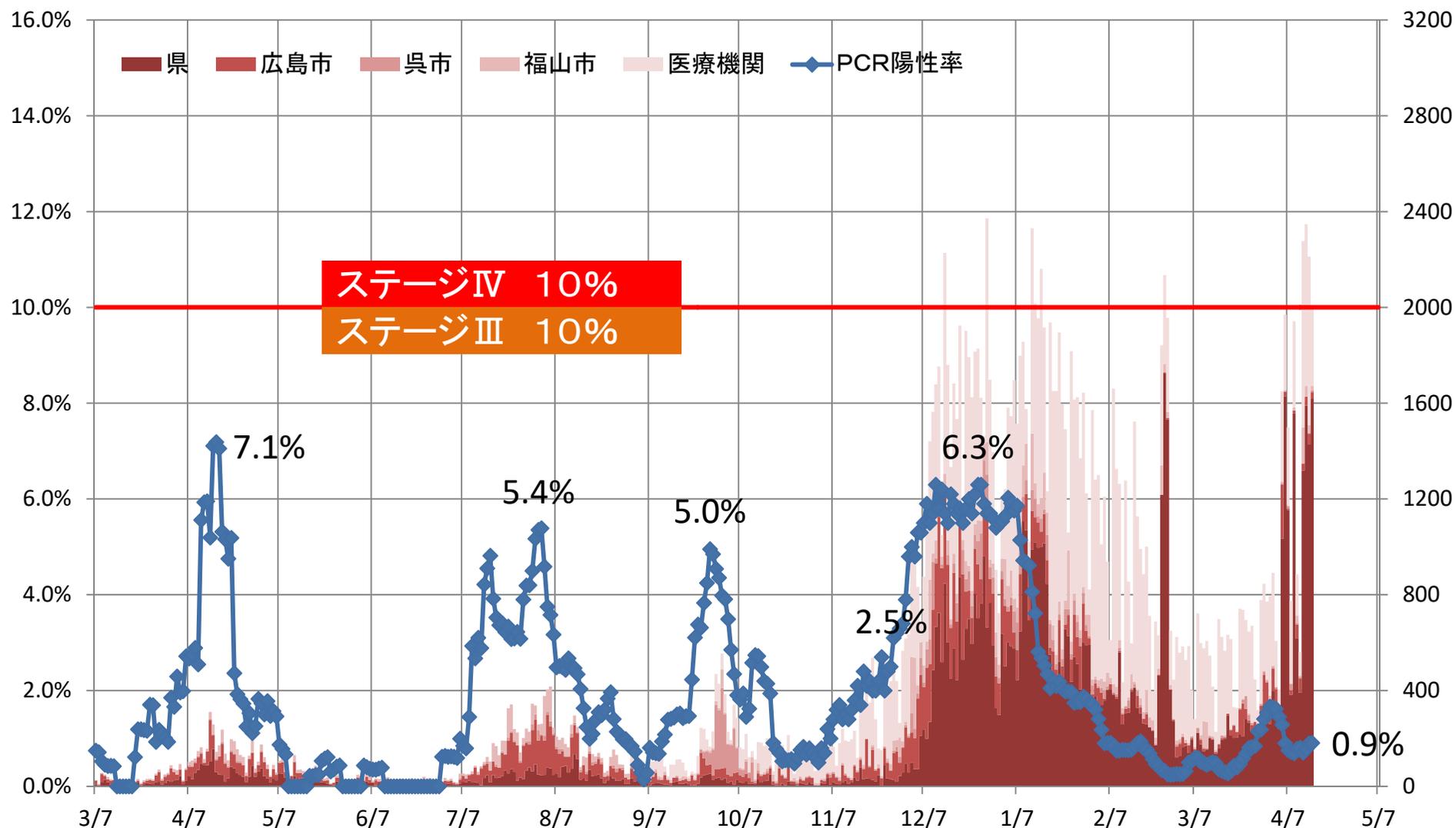
➤ 15人を下回る



分科会参考指標③ PCR陽性率（7日移動平均）

評価

➤ 10%を下回る

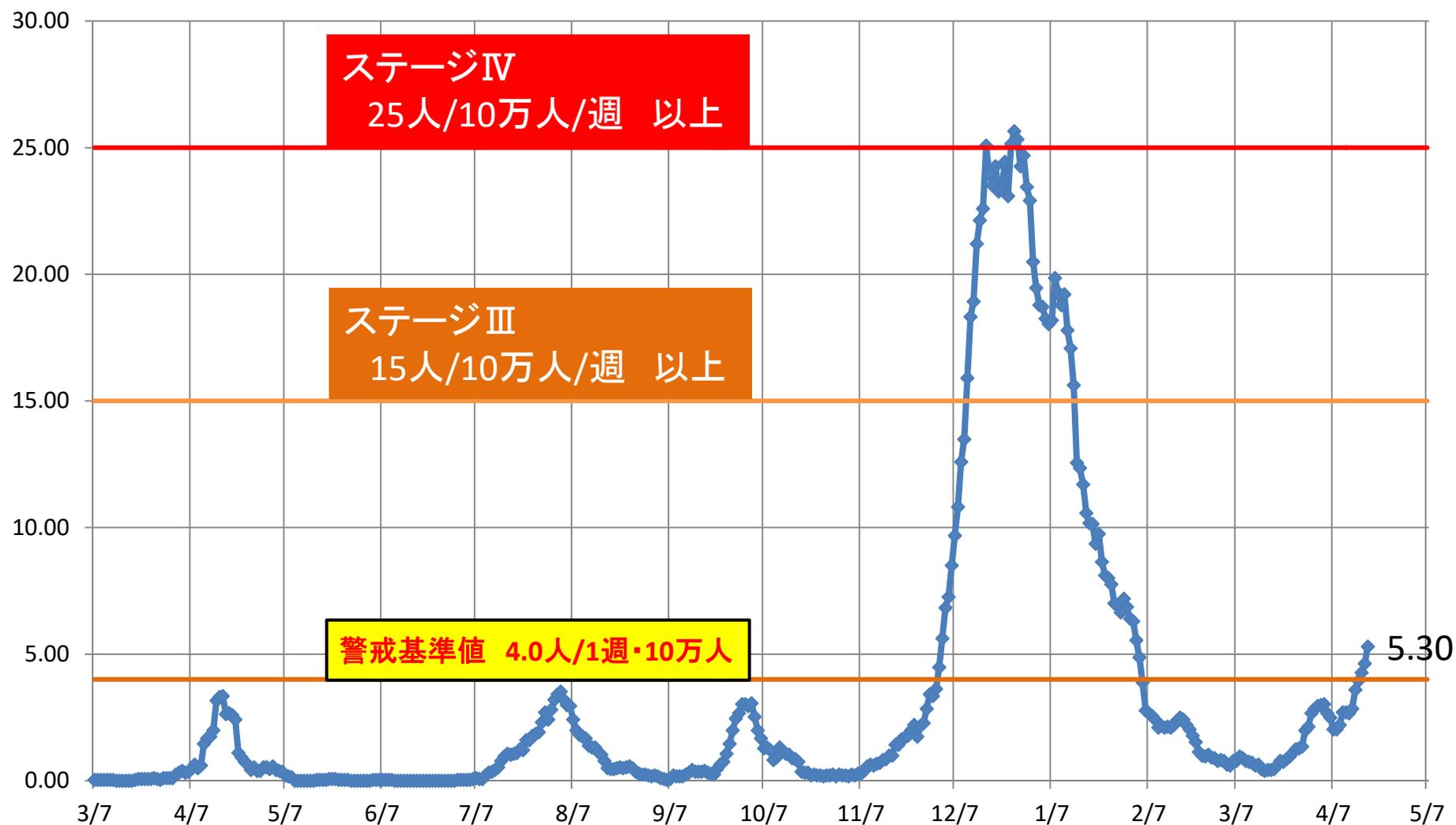


PCRセンター、PCRモニタリングポイント及びPCRTライアルにおける実施件数は県実施分に含まれる

分科会参考指標④ 新規報告数（直近1週間人口10万人あたり）

評価

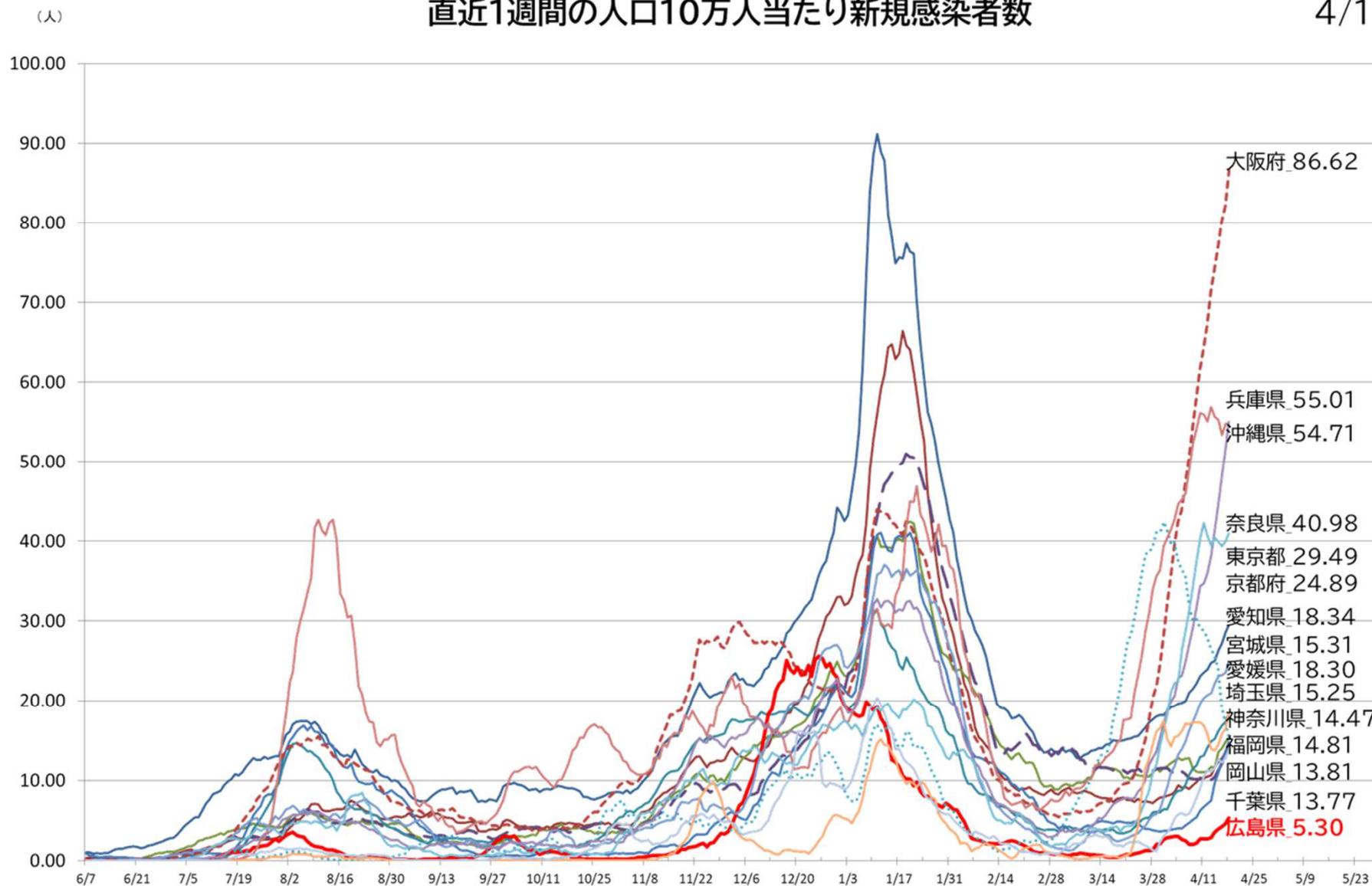
- 警戒基準値4人を上回る
- 15人を下回る



直近1週間の人口10万人当たり新規報告数 (主要都道府県比較)

直近1週間の人口10万人当たり新規感染者数

4/18時点



分科会参考指標⑤ 直近1週間と先週1週間の比較

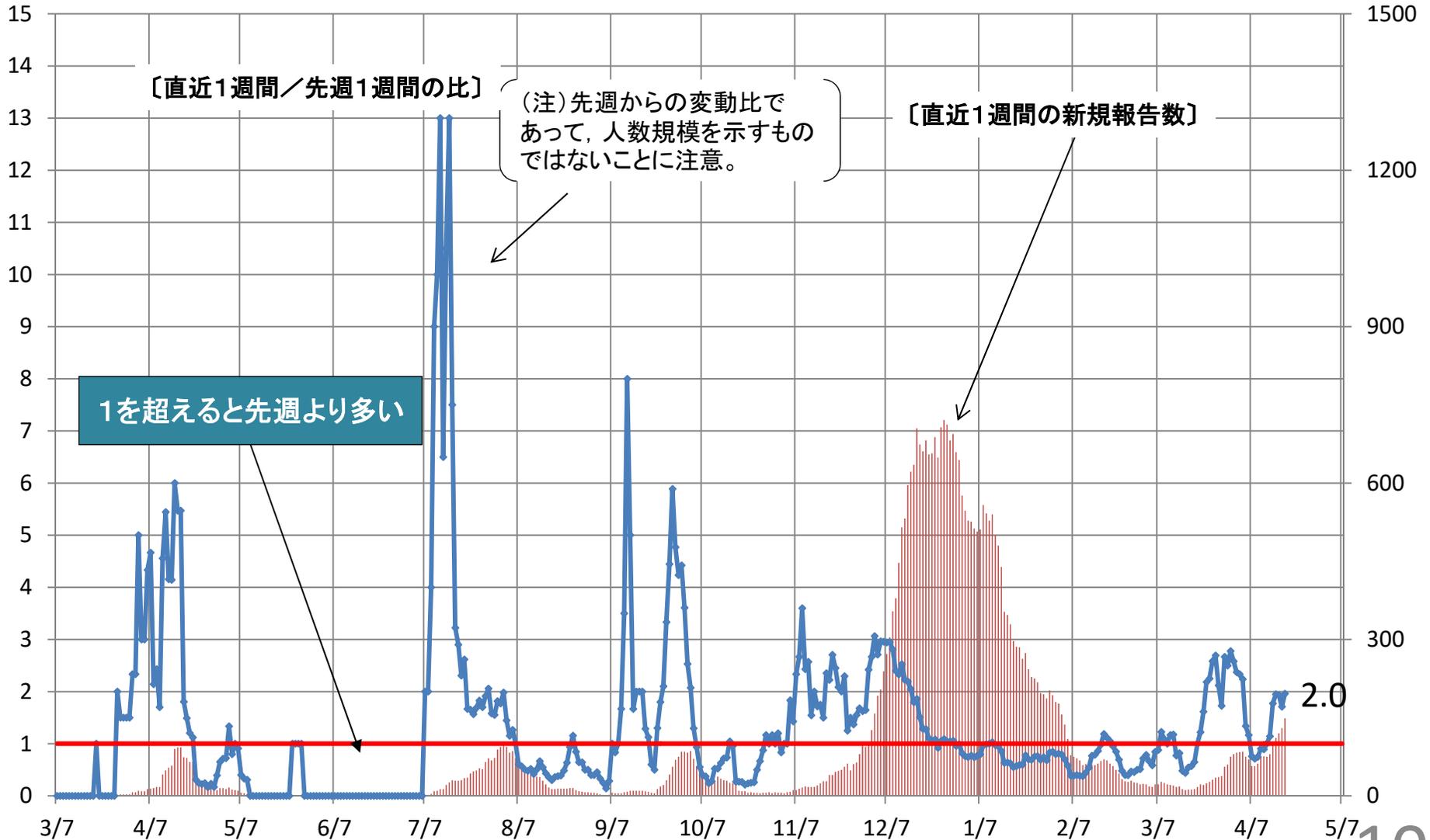
評価

➤ 先週と比較し増加

〔直近1週間／先週1週間 で算出〕

〔直近1週間／先週1週間の比〕

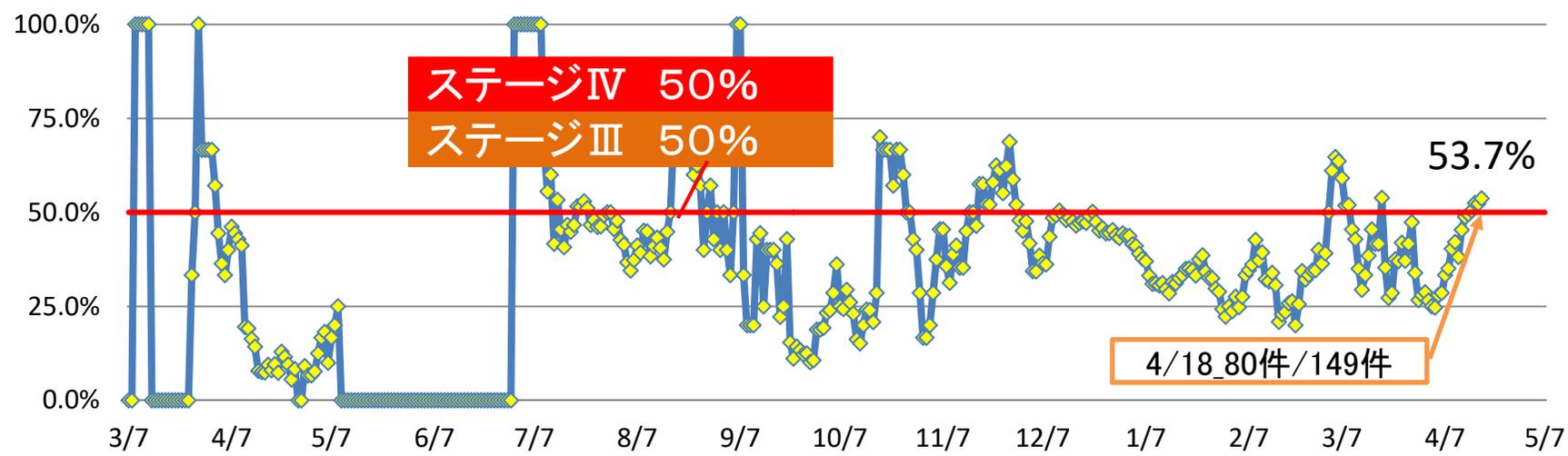
〔直近1週間の新規報告数〕



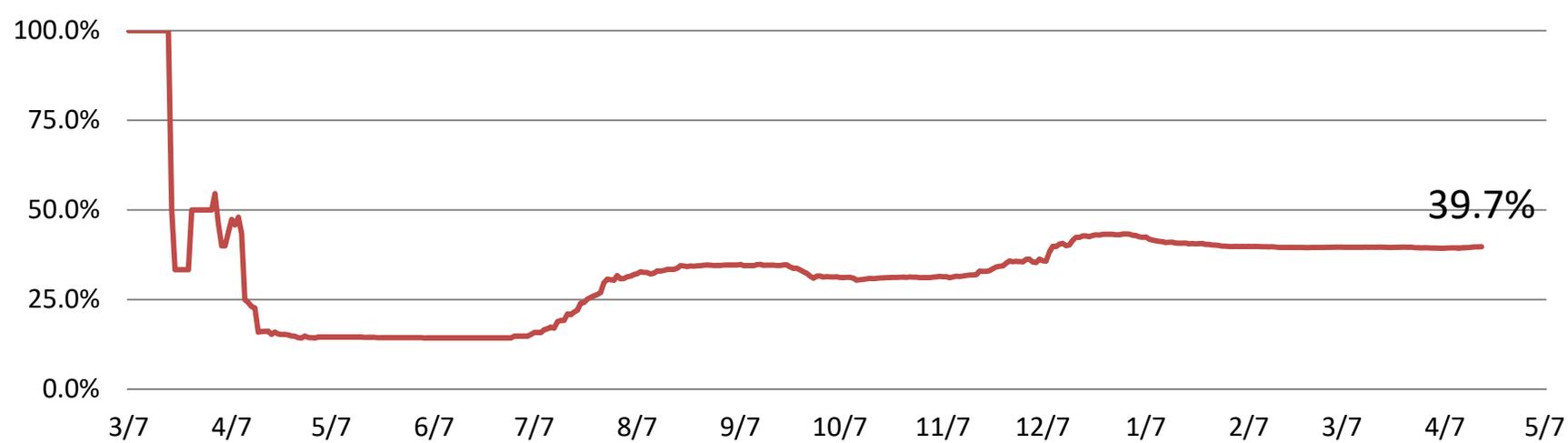
分科会参考指標⑥ 感染経路不明数の割合

評価
 ➤ 50%を上回る

7日移動平均



累積



ステージ判断のための指標

	医療提供体制等の負荷			感染の状況			
	①医療の逼迫具合 ^{注1}			②療養者数 ^{注2}	③PCR陽性率 ^{注3}	④新規陽性者数 ^{注4}	⑤感染経路不明割合
	入院医療	重症者用病床					
ステージⅢの指標	確保病床の使用率 20%以上	入院率 40%以下	確保病床の使用率 20%以上	20人 /10万人以上	5%以上	15人 /10万人/週以上	50%以上
ステージⅣの指標	確保病床の使用率 50%以上	入院率 25%以下	確保病床の使用率 50%以上	30人 /10万人以上	10%以上	25人 /10万人/週以上	50%以上

注1 医療の逼迫具合に関しては、一般医療と両立可能な最大限の病床を確保し、医療提供体制を強化することが前提である。確保病床とは、病床・宿泊療養施設確保計画において一般医療と両立可能な範囲で最大限確保した病床であり、当該計画における最終フェーズまでに、新型コロナウイルス感染症患者の受入れ要請があれば、患者受入れを行うことについて医療機関と調整済の病床をいう。入院率とは療養者数に対する入院者数の割合をいう。入院率については、感染拡大に伴い療養者数が増加すると、入院できない自宅療養者数等が増加することとなり、入院者に対する療養者数が増加することから、医療の逼迫状況を把握するための指標として用いるものである。このため、入院率の指標については療養者数が人口10万人あたり10人以上の場合に適用する。また、新規陽性者が、発生届が届け出られた翌日までに療養場所の種別が決定され、かつ入院が必要な者が同日までに入院している場合には入院率を適用しない。これらの指標以外にも、大都市圏については、医療提供体制の負荷を見るための指標として救急搬送困難事例、監視体制を見るための指標として発症から診断までの日数についても参考指標として確認する。

注2 療養者数とは入院者数及び自宅・宿泊療養者数等を合わせた数をいう。ただし、地域によっては、変異株の影響により療養期間が2週間以上と長くなることも見られることから、療養者数の指標については弾力的に判断する必要がある。なお、今後、療養者数等の指標の目安を変更する場合には、感染性と関係すると思われるPCR検査のct値も参考に検討する必要がある。

注3 PCR陽性率については、増加速度についても注意を払うこと。

注4 新規陽性者数については、日々の入手可能性を踏まえつつ、発症日での検討結果も考慮するとともに、若年層や高齢者など年齢階層別新規陽性者数の動向も注視することが重要である。特に20-30歳代の新規陽性者数は先行指標として重要である。

令和3年4月16日内閣官房新型コロナウイルス感染症対策推進室事務連絡より引用

5

ステージ1: 感染者散発的発生。医療支障なし
 ステージ2: 感染者増加。医療負荷が蓄積
 ステージ3: 感染者急増。医療支障を避ける措置必要
 ステージ4: 爆発的感染。医療機能不全を避ける措置必要

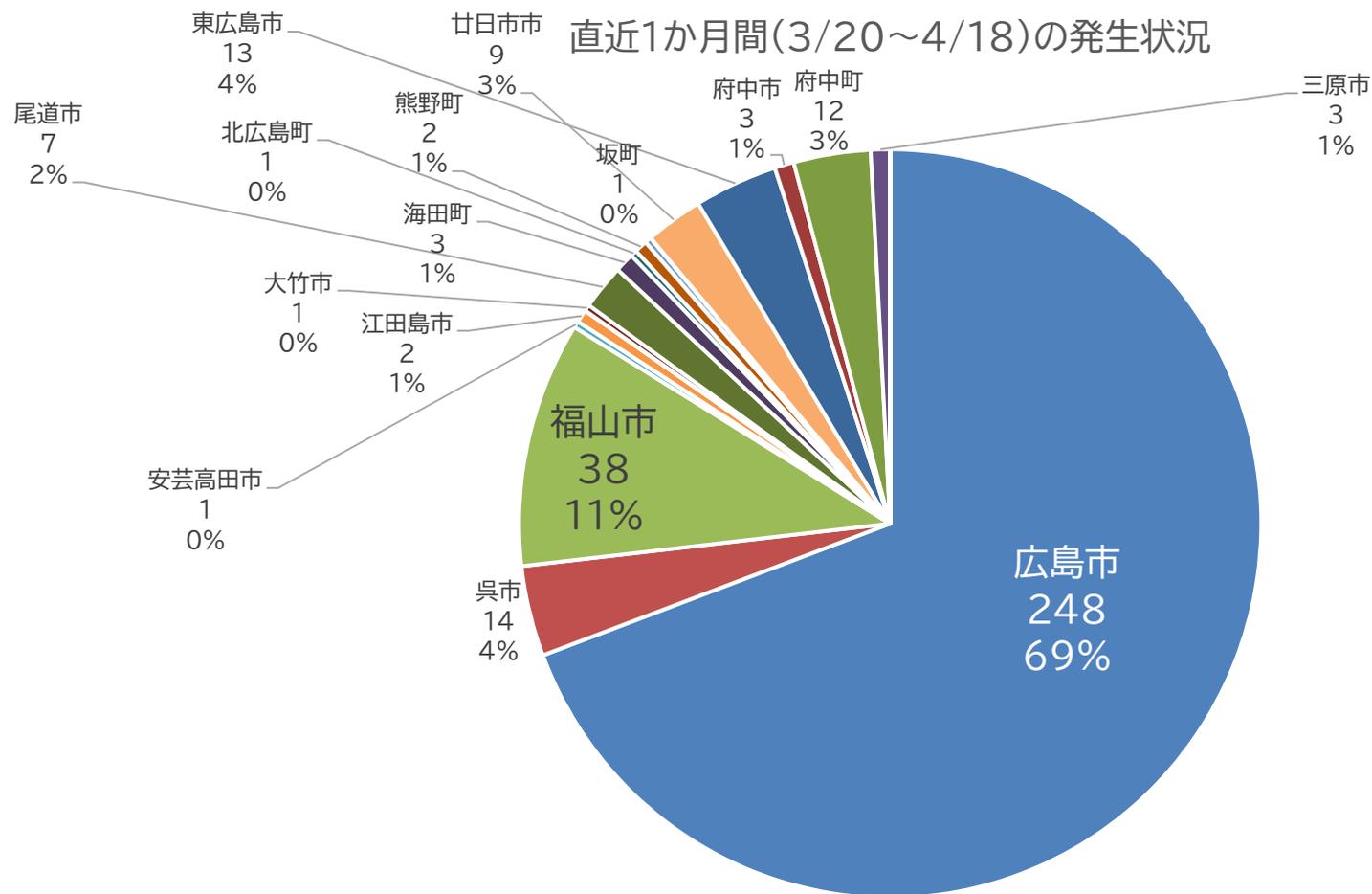
【講ずべき施策の提案】

ステージ3: 飲食店の人数制限, イベント見直し, 酒提供店の利用自粛要請
 ステージ4: 緊急事態宣言の検討, 外出自粛要請, 学校休校の検討

3. 市町別の状況

市町別発生状況

4月18日20時整理



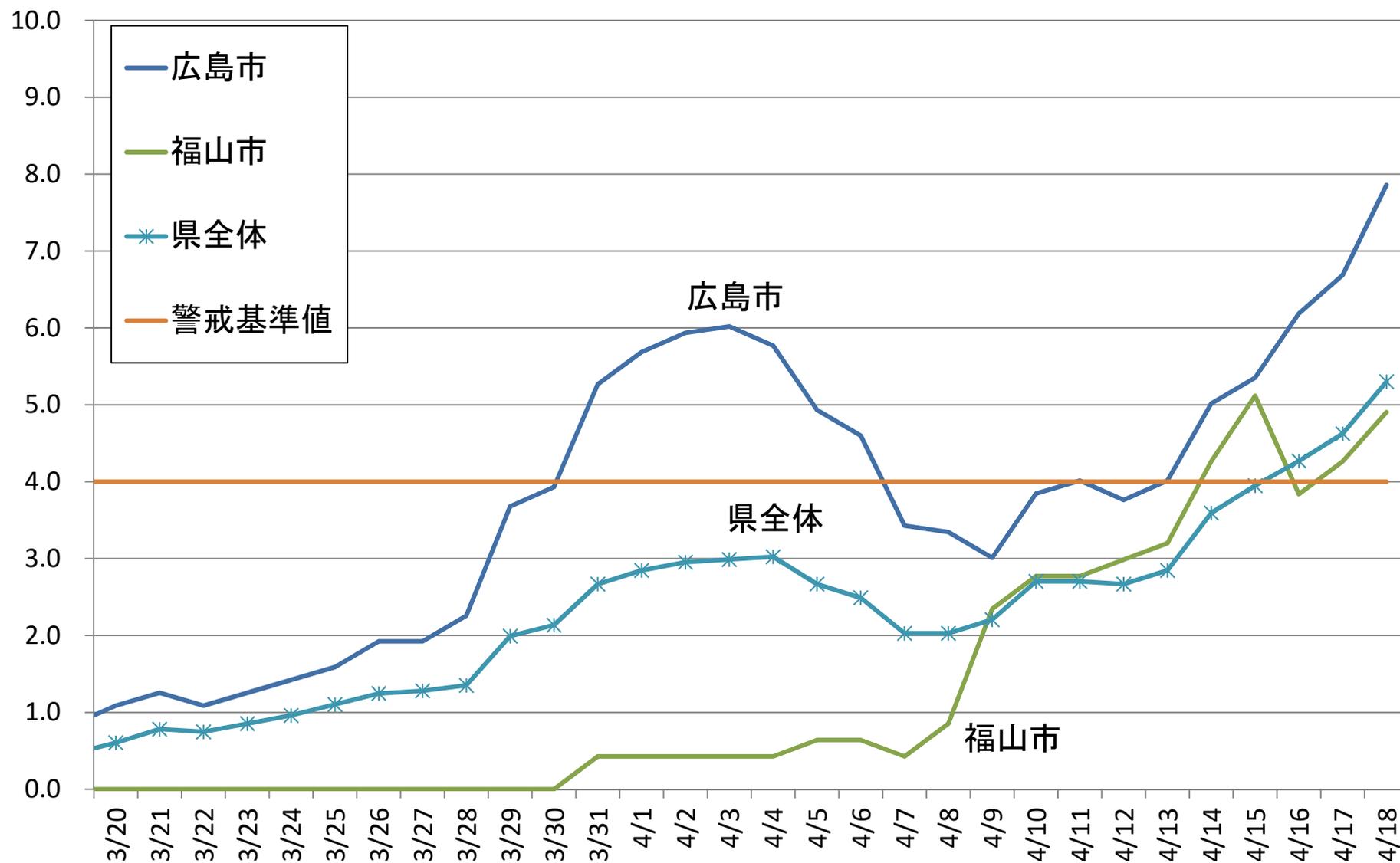
分科会参考指標

4月18日20時整理

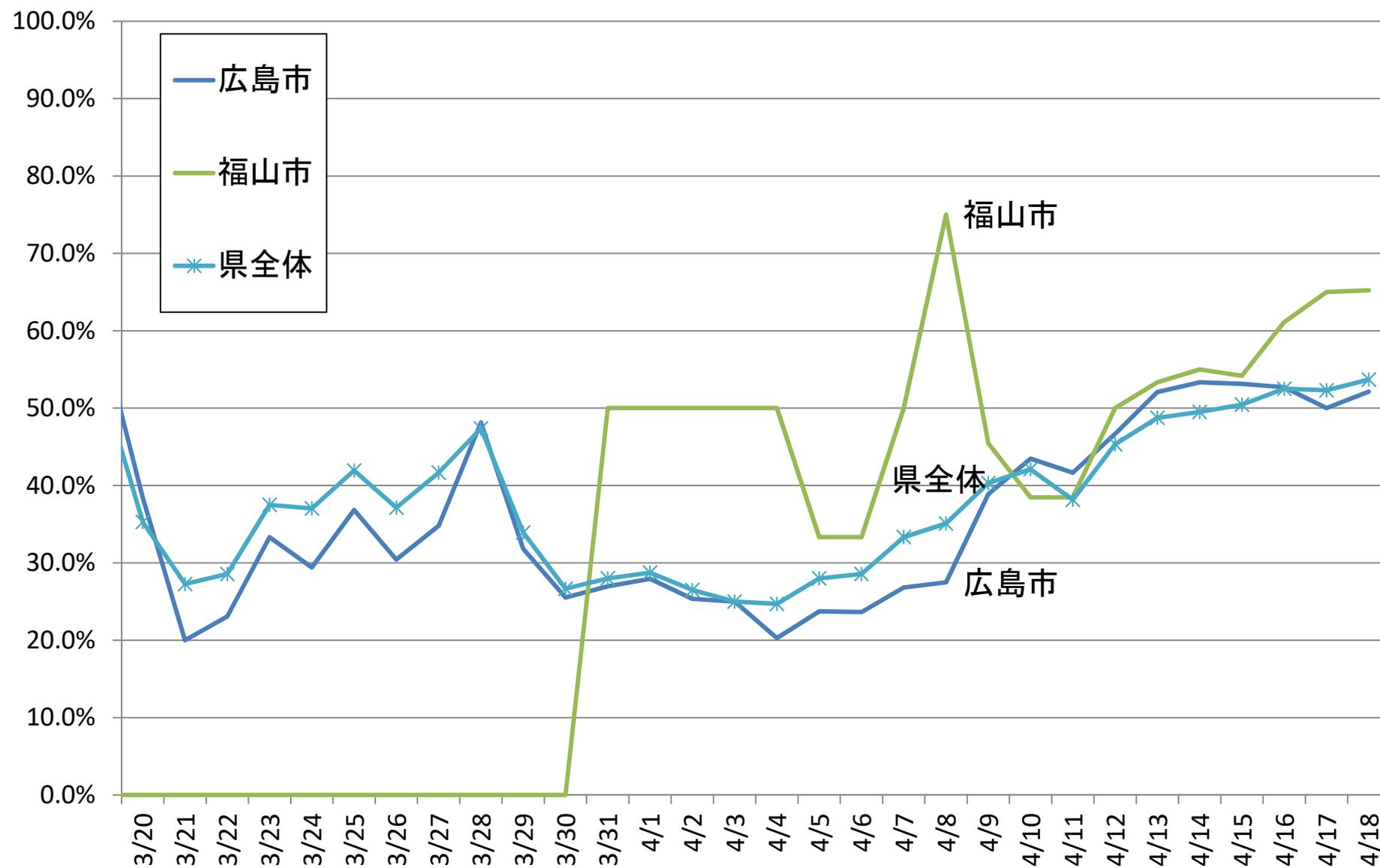
公表日別の県市別分科会参考指標						
4月12日(月) ~ 4月18日(日) の1週間						
分科会参考指標	広島市	福山市	広島県	広島県 (広島市・福山市除く)	ステージⅢ	ステージⅣ
療養者数(10万対)(人)	9.3	5.1	6.2	3.5	15人以上	25人以上
新規報告者数(10万対)(人)	7.9	4.9	5.3	2.8	15人以上	25人以上
PCR陽性率(7日間)(%)	7.9	1.4	0.9	0.7	10%以上	
直近1週間の感染者数(人) (上段は先週1週間)	⁴⁸ 94	¹³ 23	⁷⁶ 149	¹⁵ 32	先週より多い	
感染経路不明割合(%)	52.1	65.2	53.7	50.0	50%以上	
病床のひっ迫具合(%) (最大確保病床数)	同右		8.2	同左	1/5以上	1/2以上
病床のひっ迫具合(%) (現時点確保病床数)	同右		18.5	同左	1/4以上	
重症者用病床のひっ迫具合(%) (最大確保病床数)	同右		1.4	同左	1/5以上	1/2以上
重症者用病床のひっ迫具合(%) (現時点確保病床数)	同右		2.8	同左	1/4以上	

※県把握情報をもとに作成(後日若干の修正が行われる可能性あり)
 ※PCR陽性率は04/09~04/15の7日間(把握している最新情報)について作成
 ※広島市分のPCR陽性率には、広島市の陽性例で医療機関において検査した結果を含まない
 ※感染経路不明割合は7日移動平均
 ※重症者用病床に04/18現在1名。重症者病床は最大70床確保(県全体)、現時点で36床確保(県全体)

分科会参考指標④ 新規報告数（直近1週間人口10万人あたり）



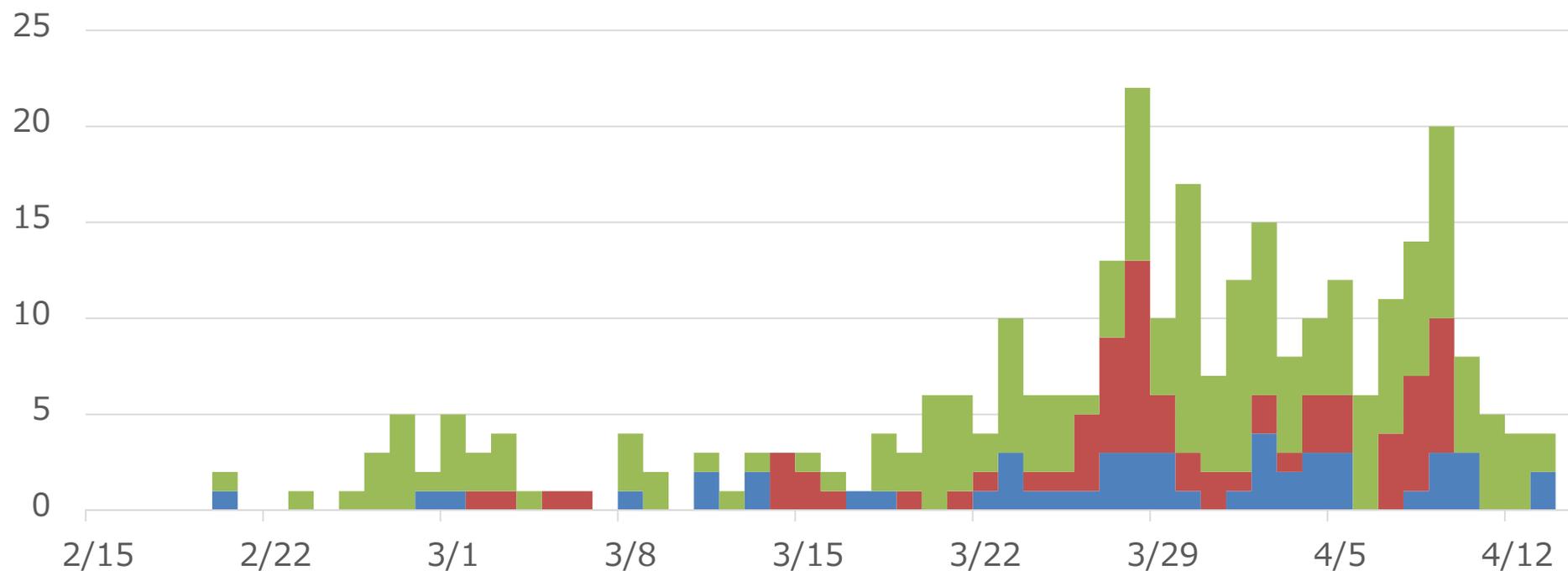
分科会参考指標⑥ 感染経路不明数の割合



4. 直近の感染状況の分析

県外往来等県外が関係した感染の影響

- それ以外
- 県外関連のある者から感染した可能性の高い者
- 感染集団の中で最も発症日が早く、かつ県外との関連がある者

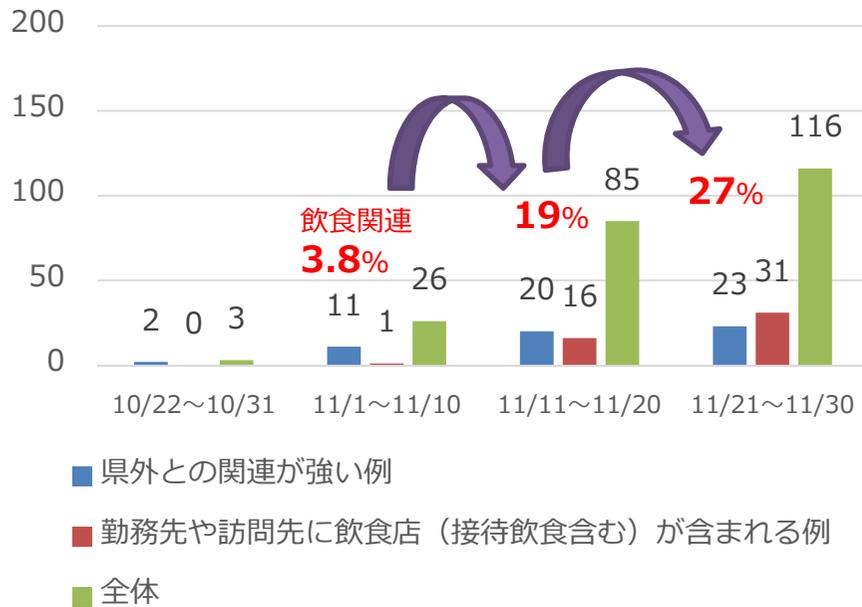


3/1～3/14公表の事例を対象とし、発症日（無症状は判明日）基準で整理

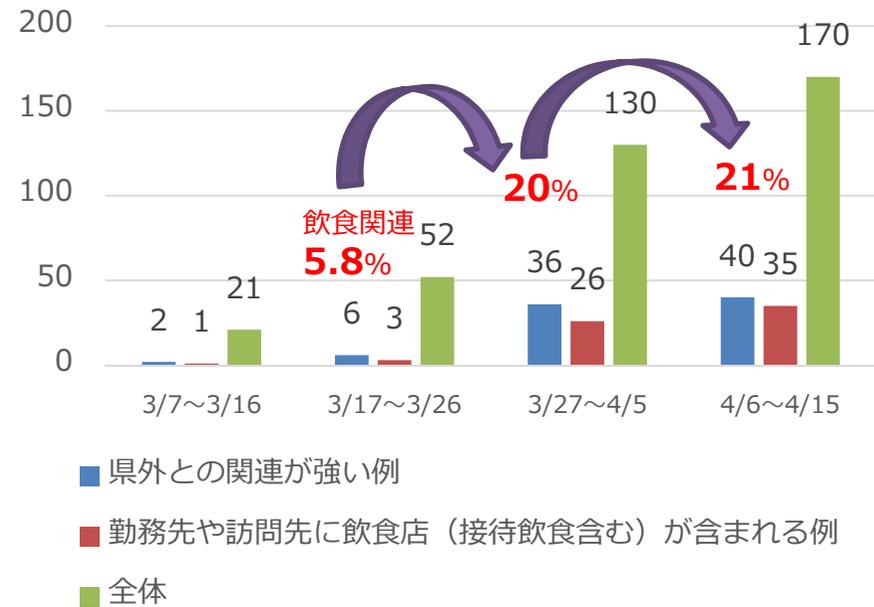
・ 県外往来等，県外が関係した感染の拡大が継続している。

昨年12月の感染拡大の初期の状況との比較 県外関連感染の増加に続く、飲食の場での感染拡大

昨年12月の感染拡大初期（発症日別）



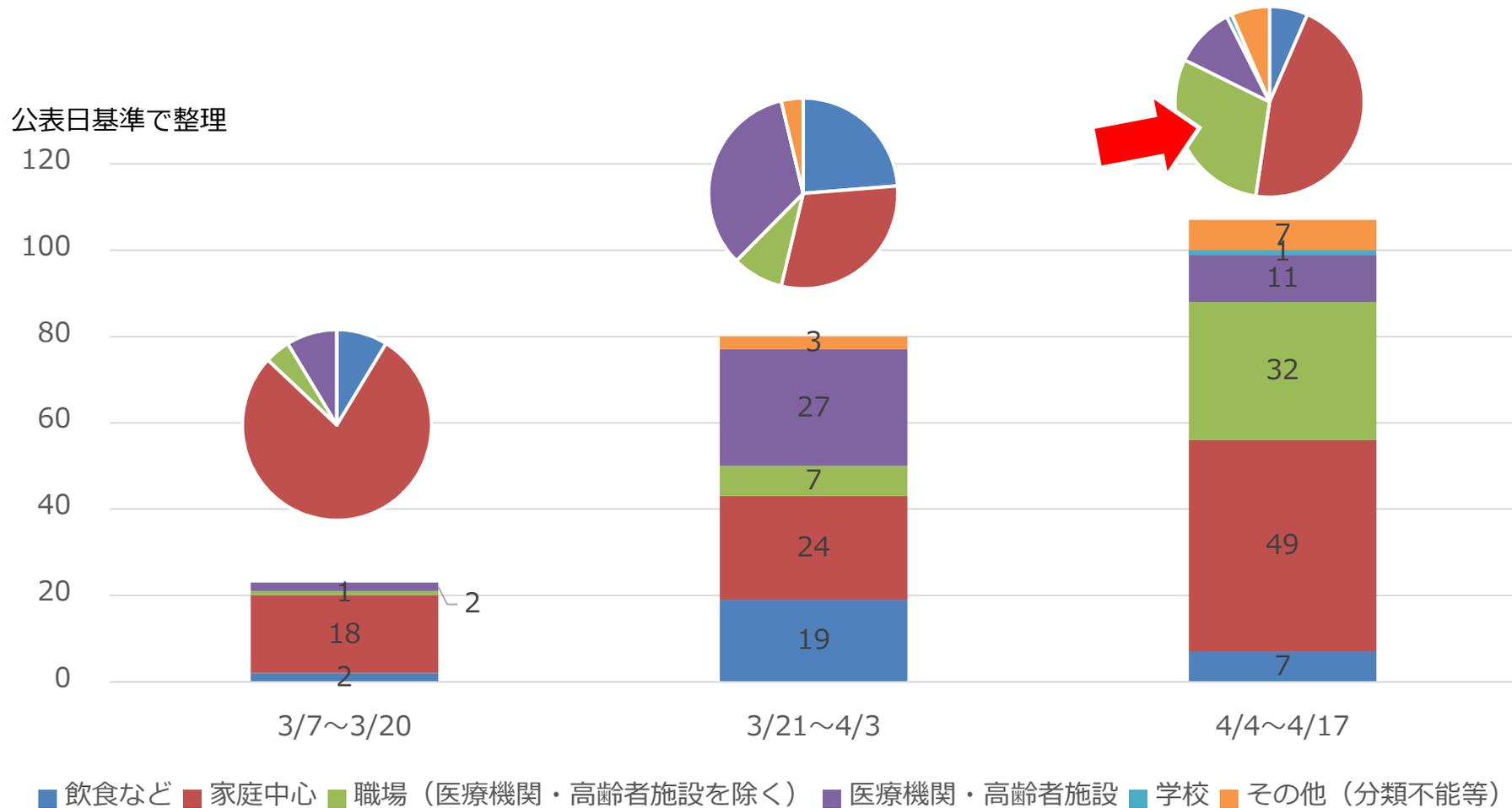
直近の状況（発症日別）



※感染経路の判明・不明に関わらず、飲食や県外との関連の有無で整理(全例対象)

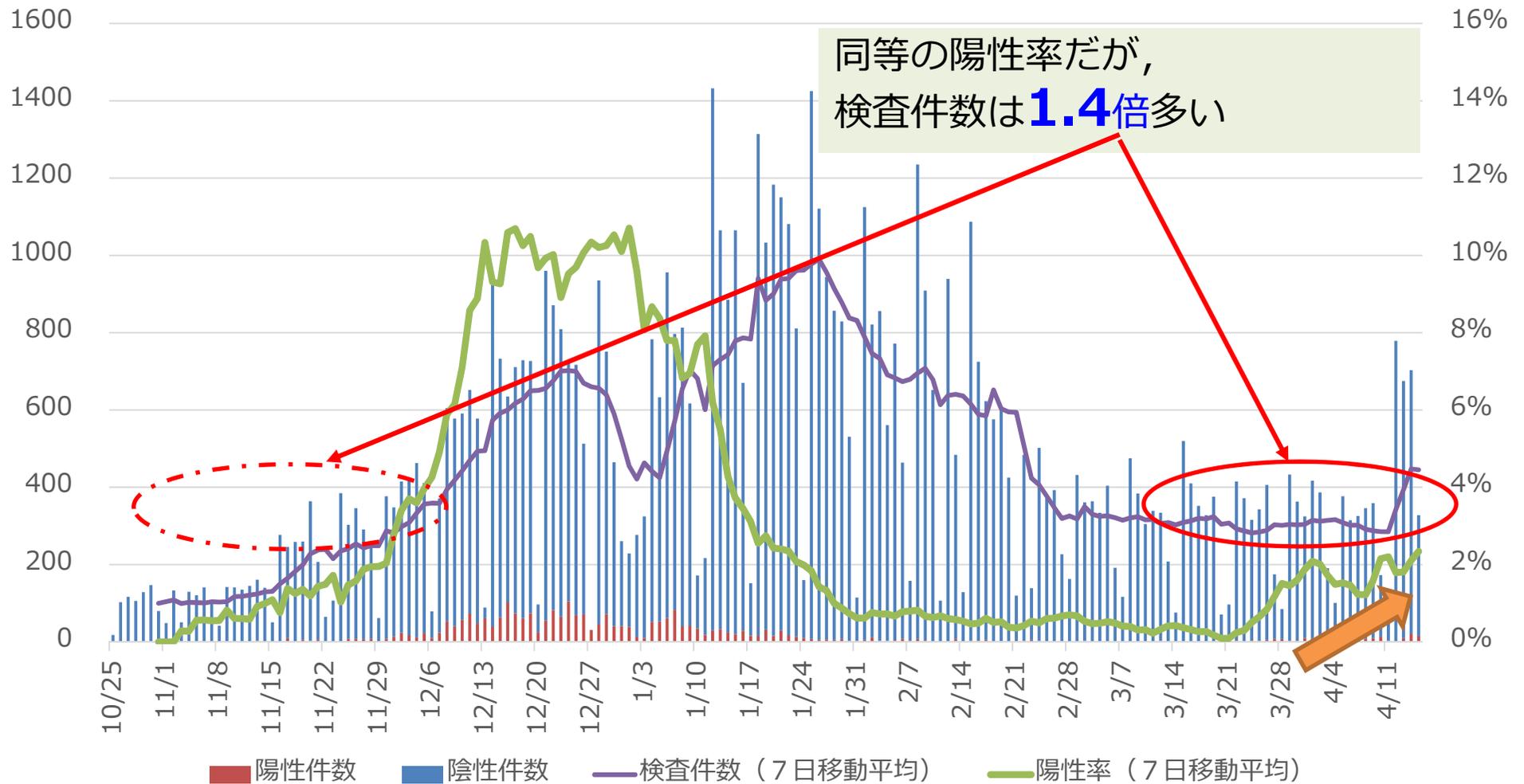
- ・ 昨年12月の感染拡大初期と同様に、県外と関連がある感染に続き、飲食関係での感染拡大の予兆がみられる。特に広島市中区の繁華街と関連のあるケースが増加傾向にある。

感染経路判明例における推定感染経路の推移



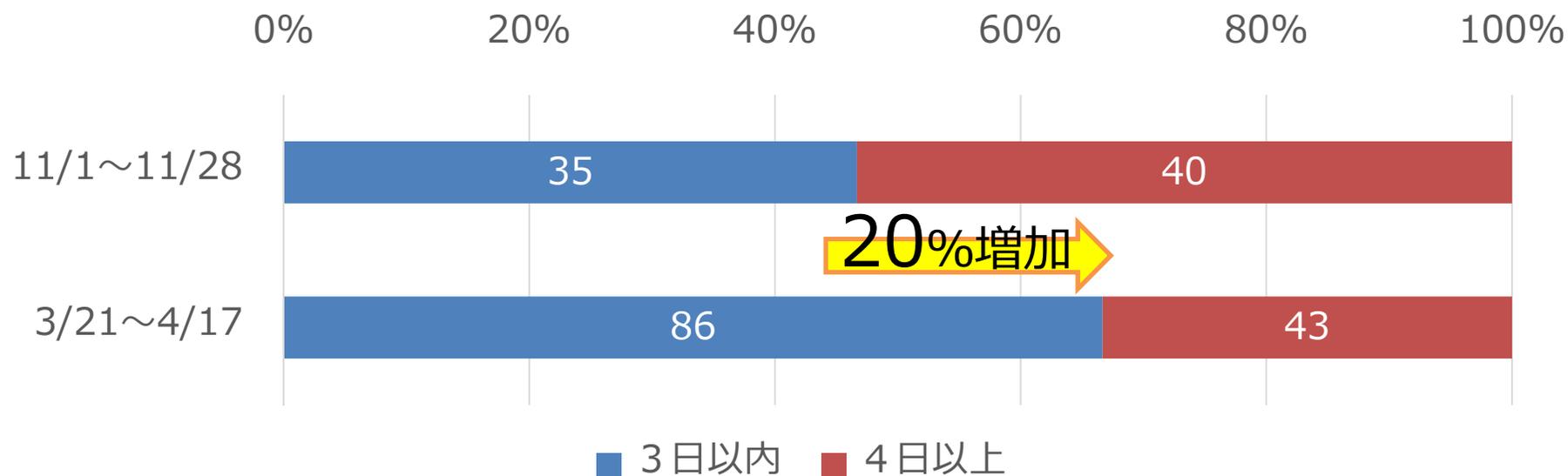
- ・ 職場感染の占める割合が比較的高い。
- ・ 単に職場が同じというわけではなく、飲食・会食を行っているケースが多い。

医療機関PCR検査状況



- ・ 陽性率は直近では若干上昇傾向
- ・ 前回拡大初期と比較すると検査件数が多く、広く陽性者を捉えていると考えている

受診行動の変化 (感染経路不明例における発症から陽性判明までの日数の比較)



- 昨年11月の状況と比較すると、症状を自覚して陽性が判明するまでの期間が3日以内の例の割合が増加
- 住民が積極的に医療機関を受診するようになったと推測

変異株患者の発生状況

(4月17日現在)
合計 75人

英国株 51人
解析不能 6人
未判明 18人

西部保健所管内
6人

英国株 6人

広島市保健所管内
56人

英国株 39人
解析不能 5人
未判明 12人

福山市保健所管内
6人

英国株 2人
未判明 4人

呉市保健所管内
3人

英国株 2人
未判明 1人

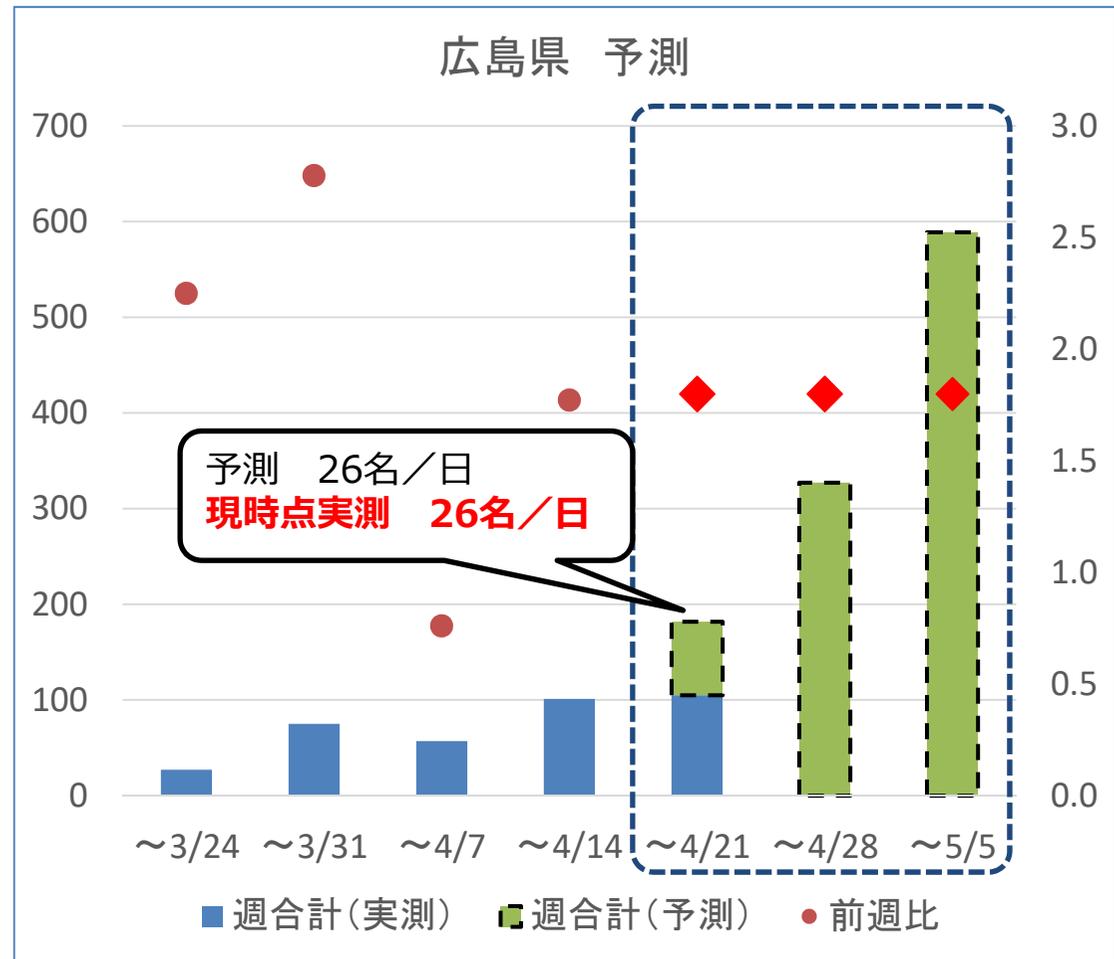
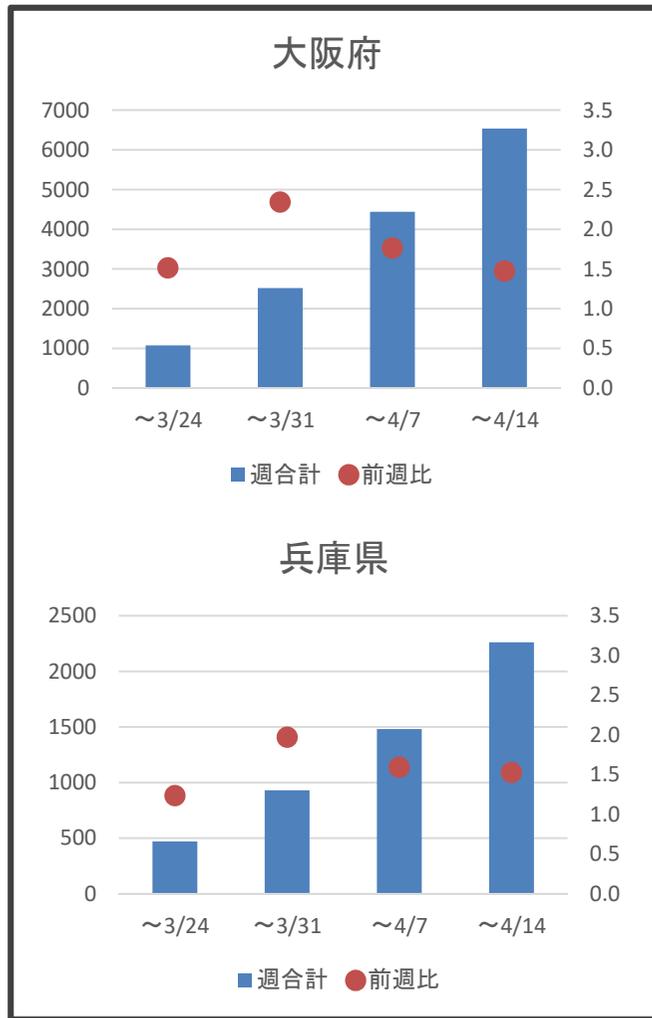
東部保健所管内
4人

英国株 2人
解析不能 1人
未判明 1人

- ・ 判明日基準における週ごとの変異株割合は2～3割程度で推移。
- ・ 現在変異株が主流となっているとまでは言えないが、警戒が必要。

今後の拡大予測

他自治体、特に変異株の感染が拡大していると言われている大阪府や兵庫県等の状況も踏まえ、
今後、週合計の感染者数が前週比1.8で推移すると仮定し、4/14時点で予測



・このまま拡大が進めば、**4/29~5/5の1週間で589名**の新規感染者が発生（1日平均約84名）

現在の感染状況等のまとめについて

感染抑制要因

【幅広い検査】

- ・ 昨年12月と比較し、検査実施件数が多く、現時点においてはPCR陽性率が低い。

→昨年12月と比較すると、感染の全体を捉えられていると推測

- ・ 発症から受診・判明までの日数が短縮傾向にある。

→県民の行動変容もあり、早期に感染者を囲い込んでいると推測



感染拡大要因

【県外往来・飲食を起因とした感染】

- ・ 県外関連の感染から、繁華街（飲食関係）への感染の広がりが示唆されている。
- ・ 職場での感染も一定数見られるが、飲食に起因すると疑われるものも多い。

→「職場」「飲食」から市中に感染拡大の可能性

【変異株】

- ・ 広島県においても、着実に変異株の感染が継続。
- ・ 変異株の影響もあり、先行して拡大した他自治体の増加推移と類似性が示唆されている。

要因分析に基づく対策実施